

武雄鍋島家 鍋島茂義
第28代領主にして画人。

武雄市図書館・歴史資料館 企画展

皆春齋

かしのんさ

◎会期 平成27年

2月14日(土) ↓ 3月22日(日)

午前9時 ↓ 午後7時まで 会期中無休

◎会場

武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022

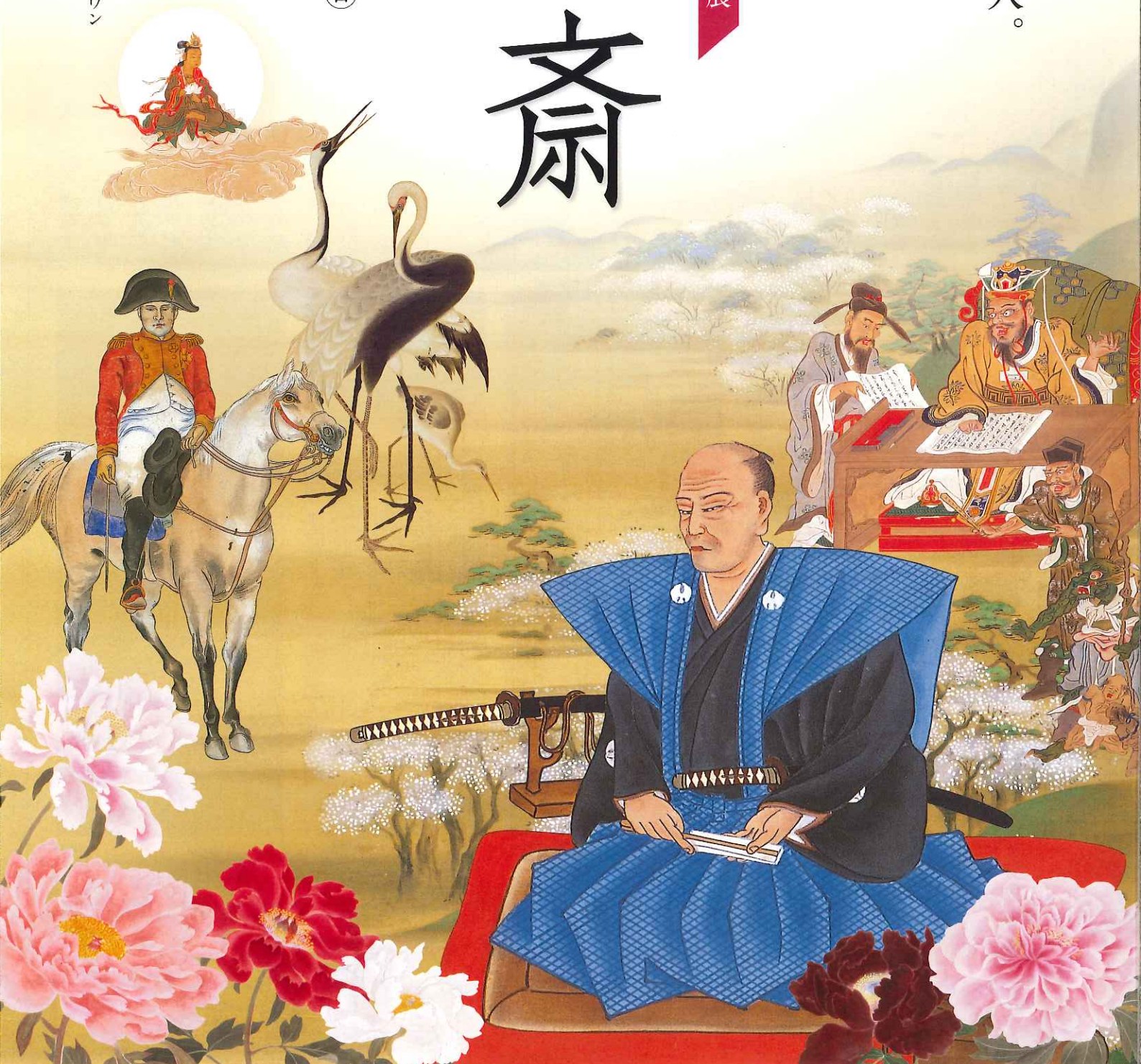
佐賀県武雄市武雄町大字武雄五三〇四一

TEL 0954-28-9105

主催◎武雄市図書館・歴史資料館

後援◎佐賀新聞社・西日本新聞社・株式会社ケーブルワン

NHK佐賀放送局・STSサガテレビ





万国人物図



皆春齋

かいしゅんさい

武雄市図書館・歴史資料館 企画展



【重要文化財】植物図絵

今回の企画展では、茂義が描いた絵画を中心に、茂義所用の絵道具また重要文化財の「植物図絵」、舶来絵の具の「プルシャンブルー」、「ウルトラマリンプル」を展示し、文化人鍋島茂義の一面をご覧頂きたいと思っております。

領内や藩の政務に加えて、西洋文明摂取の推進。多忙な日々の中、茂義は、なお多くの趣味も楽しんでいました。狩猟、能楽、絵画、鳥・虫等の飼育、花卉の栽培など、その興味の赴くところは多岐にわたります。絵画についても狩野派に学び、折々に筆を取っていますが、伝統的な手法に止まらず、飼育・栽培した動植物の図など、写実的な絵も手がけたようです。

皆春齋は、中世から武雄に居を構えた武雄鍋島家（二〇代までは後藤を称す）の二八代、鍋島茂義（一八〇〇〜一八六二）の雅号です。一九世紀初頭以降、日本が海防の強化に迫られていた時代、軍事、医学、化学など幅広い分野で蘭学の導入に務めた人物として知られ、その業績を示す資料群は「武雄鍋島家洋学関係資料」として、平成二十六年に国の重要文化財に指定されました。



画帖



十王図「五官王」



寒月梅花図



吉野桜図



絵具



筆立・筆洗

武雄市図書館 歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205
<http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>
E-mail | epochal@city.takeo.lg.jp

